

改善計画書

施設名 山郷保育園 (担当者 小川 由里)

(作成年月日 平成29年3月24日作成)

(施設として特に優れている点) やりとりしていること	1	年間通して菜園活動に取り組み、給食食材として利用している。季節感の感じられるクッキングを毎月経験できるなど、園全体で食育を実践している。						
	2	地域の老人施設、障害者施設への定期的な慰問や、地域高齢者とも交流を深め、人権を尊重する活動をしている。						
	3	地域のボランティアさん、障害者施設の職員、小学校長の方々が、季節行事に参加し、子どもたちと楽しく触れ合ってもらっている。						
	4	安全推進会などで安全で快適な職場環境について話し合い、計画的で効率の良い保育運営を重視し、働きやすい職場を目指している。						
	5	誕生会など行事のときに、職員の能力が発揮でき、よい刺激になっている。そのことが、園発行(めばえ)に盛り込まれ、発信することで、保護者にも関心が持てるよう工夫されている。						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すべてできること	1	保護者との連携について	毎日の保育内容をホワイトボードで保護者に伝えることで保護者に安心してもらう	3ヶ月	H29・4	H29・6	毎日、各クラスのホワイトボードで保育内容を保護者に伝え、発信し、コミュニケーション不足を補う	全職員
	2	保護者への対応について	保育者が保護者と一言でも話せるように、協力して対応する体制をとる	3ヶ月	H29・4	H29・6	降園時の保護者対応は、クラス担当者全員でできるよう、連携をとり話し合いをしておくようにする	全職員
	3	利用者満足度向上のためのアンケート調査(保護者交流への要望の対応など)	回収して、取りまとめた上で、検討しフィードバックして実施する	1年	H29・4	H30・3	保護者役員会にて提案し、アンケート調査の時期や、フィードバックの方法を検討し、実施につなげる	園長・主任
	4	保護者への防犯、防災の周知について(閉門時間の確認など)	閉門の確認、地域協力委員、地元の警察官の定期的なパトロールをお願いする	1年	H29・4	H30・3	決められた時間に必ず閉門し、地域協力委員、警察官パトロールなどお願いして、対策を強化とともに保護者に周知する	園長
	5							
工夫すればできること	1	保健関係のたよりの充実を図る	保護者の知りたい情報のたよりを読みやすく、時期などを考慮して発行する	1年	H29・4	H30・3	特に、流行性の病気等の内容についての詳しいたよりを発行する(2ヶ月に一回)	園長・主任・保健係
	2	引継ぎ内容の伝え漏れの解消	朝・帰りの打ち合わせなどでの引き継ぎ事項の伝え漏れがないよう、職員全員に周知を徹底する	3ヶ月	H29・4	H29・6	会議に出席できない職員全員に通達できるように、ホワイトボードを有効活用する	園長・主任
	3							
	4							
	5							
予算化しないといけないこと	1	メッセージボックス(ご意見箱)の設置	意見を吸い上げる窓口として設置し、利用家庭に周知する	1年	H29・4	H30・3	メッセージボックスの意図を保護者に周知し、気軽に活用していただけるよう工夫する	主任・相馬
	2							
	3							
	4							
	5							